

フューチャー・デザインの理論深化 と自然資源管理分野への応用



キーワード 持続可能社会、自然資源利用、地域活性、
フューチャー・デザイン、分野横断型協働

淵上 ゆかり FUCHIGAMI Yukari

附属フューチャーイノベーションセンタ―/ビジネスエンジニアリング専攻 助教
産学官共創講座 フューチャー・デザイン領域 原研究室



■ フューチャー・デザイン (2012~)



将来世に持続可能な社会を引き継ぐための
社会の仕組みのデザインとその実践

【現状】

既存の社会の仕組みでは、長期的課題の解決や
それに伴う負担を将来世に先送りしてしまう傾向

【解決策の一例】

「仮想将来世」の導入

※将来世になりきって様々な意思決定や交渉に臨む、
将来世の代弁者としての役割。（将来者、将来課）

【フューチャー・デザインの目指すところ（一例）】

- 「現世代」と「仮想将来世」による世代間合意形成を通じ、
世代間での協働関係を構築、長期的課題の解決へ
- 「仮想将来世」の視点を体験することを通じ、
個々人の意識内で「視点共有（俯瞰的視点）」を持つ

研究(理論深化)、教育、実践を様々な分野で進める



ここがポイント！【研究内容】

- 原圭史郎教授（阪大・工）らと共に、2012年に阪大で誕生した新たな学術領域である「フューチャー・デザイン」の理論深化および関連教育に取り組み、自然資源管理分野への応用を進めています。具体的には、西表島を中心とした地域におけるマングローブ利用の変遷把握と将来予測や、持続可能な林業のデザインから世界遺産の定義再考まで幅広く実施しています。
- そのほか、大学教員の専門分野を超えた分野横断型共同研究の仕組み解明を進めています。

応用分野

地域活性事業分野、森林・国立公園等管理、木質バイオマス分野、分野横断協同

論文・解説等

- [1] Fuchigami, Y., Sugita, N., *Information and Technology in Education and Learning*, 3(1). (2023)
- [2] Y. Fuchigami et al., "Future Design: Incorporating Preferences of Future Generations for Sustainability" T. Saijo (ed.), (2020).
- [3] 淵上ゆかり・上須道徳 他, 島嶼研究, 21(1), 39-51 (2020).

連絡先 URL

<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/hara/index.html>

